

2022年度 FD・SD 研修会 報告

教学委員会

■研修内容：

関西地区 FD 連絡協議会による制作動画「ドラマ FD 大学の授業を極める 3. アクティブラーニング」の4本の動画のうち「1. アクティブラーニングとは?」「2. 学習意欲を高めるには?」を視聴する。(オンデマンド形式)

■受講アンケート集計結果および概要

- ・2023年2月末、受講確認を兼ねて、記名アンケートを実施。
- ・教職員46名(うち4名は非常勤講師：専任教職員は受講率100%)より提出があった。集計結果は以下の通りである。
- ・グループワークを行うことがアクティブラーニングではない、インプットがあってこそそのアウトプット等、アクティブラーニングの基本の肝心を学べ、実際に活用できそうな内容でためになったとの感想が多く寄せられた。

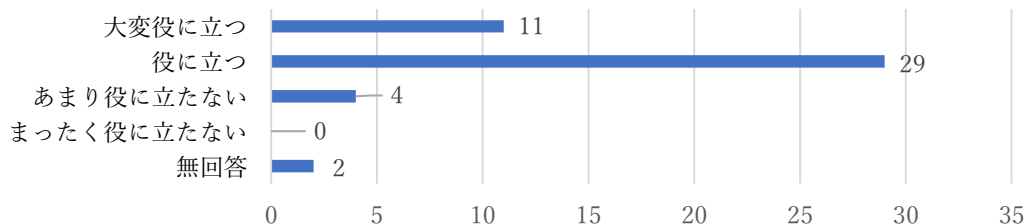
■まとめ

コロナ禍の中でもオンライン教材を活用し授業改善をテーマに継続して学ぶことができた3年間であった。今後の研修のテーマや方法について、アンケートで寄せられた意見を参考に本学の学生の実態や大学のおかれた社会状況も視野に入れながら検討していきたい。

.....

【受講アンケート集計結果】

①今回の研修は授業や教育、業務の改善に役立つ内容でしたか。



②①の理由について、お聞かせ下さい。(要約・抜粋)

- ・授業に直接役立つ。学生が課題に取り組みやすい状況、環境のつくり方、提示の仕方、発問の方法、「大福帳」など具体的で、リフレクティブサイクルを参考に自分の授業にどう反映させたらよいかを考えやすかった。
- ・インプットにかかる時間について迷いがあったが「インプットしてこそそのアウトプット」を確認でき、とても良かった。
- ・「考えてもらう」こと、書くことの意義を大切にしたい。
- ・教えるジャンルによって難しいと感じた。
- ・アクティブラーニングとくにグループワークは苦手な学生にとっては苦痛な時間になりそう。ただそれで身につくことは社会ですごく役立つと思う。
- ・授業中、休憩時間、学生からの質問を待つだけでなくこちらから積極的に話しかけるようにしたい(教員もアクティブに)
- ・学生にも視聴させることを検討する価値があるのでは?
- ・職員でも教務課で働く場合、シラバスの意味や授業設計、また今回の研修内容などは知っておく必要があると思う。
- ・「問いかけて考えさせる」は、職員も学生への対応で参考にできる。学生が主体的に物事を考えられるような対応に変えていかなければならないと思った。
- ・学習意欲を高める方法として発問があり、これを有効に取り入れることは説明会などの場面でも使えると思った。
- ・民間企業の研修では15年以上前から取り入れており、ようやく世の中に追いついてきたという印象。

③今回のオンラインでの研修についてご意見・ご感想をお聞かせ下さい。(要約・抜粋)

- ・直接質問できる場、意見交換の場がないのが残念。オンラインでもミーティングルームなどを使えば可能では。
- ・いつでもどこでも気軽に受講できる、繰り返し見ることができる、ハンドアウトも活用できるのが有難い。ただし、理解度は各自の視聴に任せるので差が出てしまう点に改善の余地があるかも。
- ・もう少し受講者の思考が深まるような教材があるとさらに詳細な授業設計につながるのでは。
- ・適度な長さの時間で間延びせず視聴できた。
- ・ドラマ形式よりもっと普通の説明で良いと思う。
- ・動画の内容が少々入門的すぎる。
- ・今後もオンライン方式の継続を希望。
- ・必須ではない、他の動画の方が役に立つと感じた。
- ・改めて世間のスタンダードと学校業界の大きな差を感じた。

④FD・SD 研修会で取り上げてほしいテーマ、内容等のご要望があればお書き下さい。

- ・指示待ち学生をやる気にさせるには？学生が積極的に参加できる、効果的な授業についての事例など。
- ・LMSの活用について（Google Classroom等）
- ・受講生の数に応じた教授方法や授業の留意点など
- ・ICTを活用した授業の展開
- ・先生方と対面で授業の目的・評価について、日々の悩み、工夫など共有したい
- ・学びの成果の二極化（しっかり学ぶ学生とそうでない学生）に対する対策
- ・授業の中で気づく学生の問題への対応
- ・発達障害等多様な学生への対応について
- ・アカデミックハラスメントについて
- ・総合的な探求の時間について（現在の高校生の学びについて）
- ・ポートフォリオ（失敗例、成功例いろいろな事例を知りたい）
- ・ファシリテーターに関する研修（ファシリテーターを育てるための指導方法）
- ・Z世代（今どきの学生）とのコミュニケーションについて教職協同で議論共有できるか／大学・短大・専門学校の学生に違いはあるのか→「教育サービス」に必要なもの、求められるものとは
- ・プレゼン能力の向上研修
- ・パワーポイント（授業）の作り方
- ・テキスト（教科書）の活用法
- ・大学のおかれた現状や方向性といった教職員共通のテーマ
- ・SDにおいて、能動的に動くというテーマの内容で（例：7つの習慣等）
- ・補助金の仕組み
- ・大学組織における連携
- ・自学の強みと弱みを教職員全員で考えられる機会

以上